

石川県馳知事 提出資料

安定的な**通信環境の確保**が、地方における**デジタルライフラインの実装の大前提**

R6.9 奥能登豪雨における通信環境確保

- 能登半島地震の教訓を踏まえ、県が衛星インターネット (Starlink) の設置を主導することで、**奥能登豪雨時には3日で配備完了** (地震時には2週間に要した)

<設置フロー>

- ①【県】避難所一覧 (緯度・経度) 提供
- ②【通】途絶の恐れのある避難所を抽出
- ③【県】集約し、配備箇所を割り振り
- ④【通】プッシュで配備



3日を
0日に

R7 通信・情報発信拠点の整備

- R7年度、奥能登の**公民館等14か所**を**Starlink・非常用電源・デジタルサイネージ**を装備するフェーズフリーな通信・情報発信拠点に (総務省補助採択)
⇒ これにより**通信途絶期間0日**を目指す

【公民館等】



【通信基盤】



【情報発信】



=

+

「点」の通信確保のみならず、「面」で能登半島全体を覆う
通信環境の抜本的改善が必要

新たな通信技術の実証・実装 (衛星 (Starlink) との直接通信、HAPS等)
キャリアの協調による通信環境の改善 (携帯基地局の共同利用等)

**デジタル技術を活用した
能登の創造的復興**

ドローンの地方活用の有効性を実感

■ 奥能登豪雨でのドローンの活用

- ① 道路状況把握(9/24-25)
- ② 浸水状況把握の実証(10/10-12)
- ③ りんご収穫支援(10/29-30)

■ 石川県での訓練・実証

- ④ 県防災訓練で搜索・物資輸送(11/10)
- ⑤ 搜索・事故調査の実証(12/23)
- ⑥ 民間情報プラットフォーム等の実証(4/21)



フェーズフリー化にはコスト・運用負担減が必要

- **行政利用**（警察・消防活動）では、コスト面や運用面（情報の秘匿性等）に課題
- **インフラ点検**（電力・鉄道・道路・ダム等）や**スマート農業**などの民間等のニーズを掘り起こし、コストや規制の課題を解決する必要

ドローン事業者と国には、能登でも実装可能な、企業や行政が**ドローンをシェア**する**ビジネスモデル**と**必要な制度環境**を早期に確立いただきたい

